



株主のみなさまへ

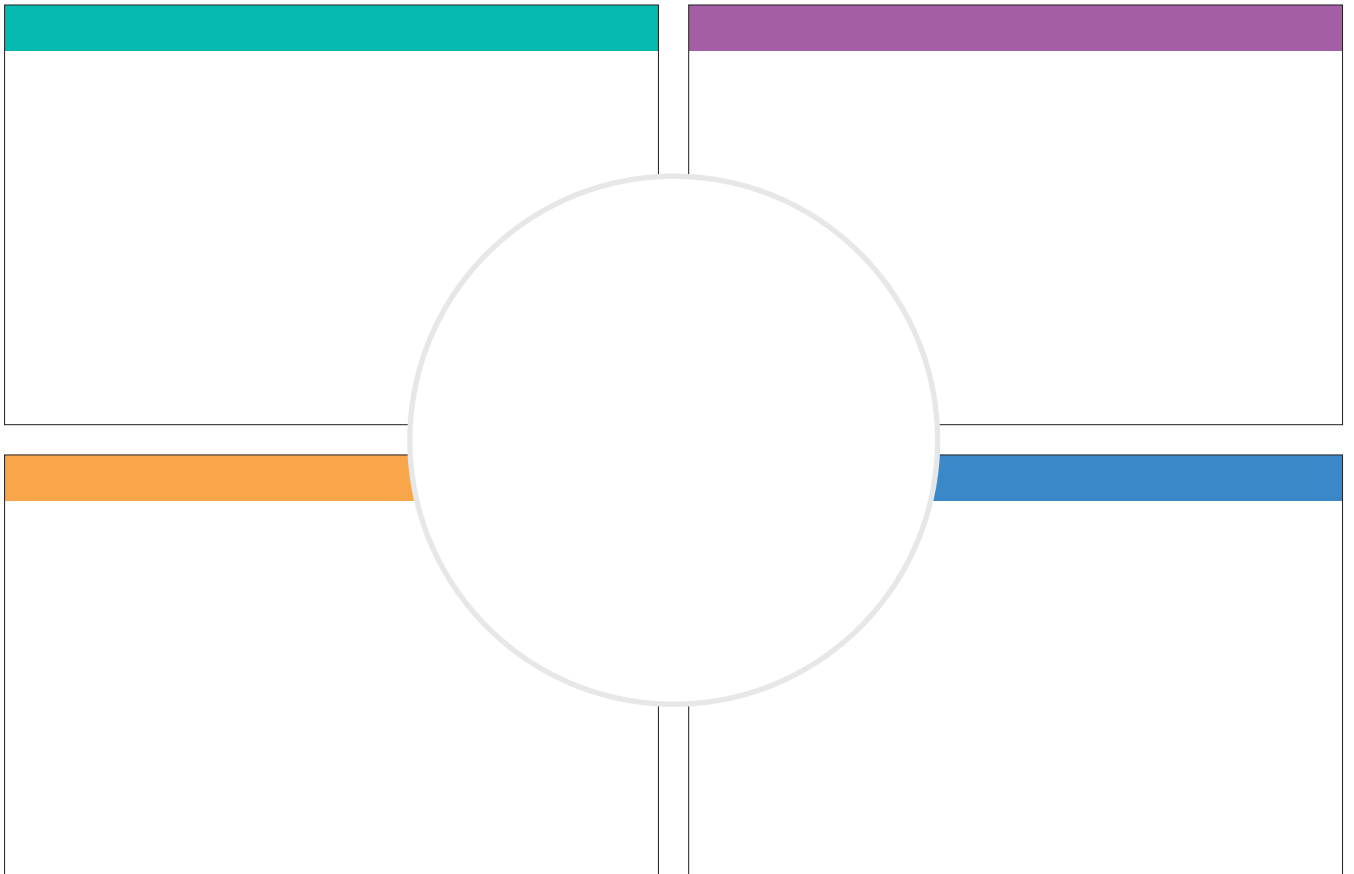
株主通信

第100期中間期

平成18年4月1日～平成18年9月30日

日本軽金属株式会社

NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.



目次

どによるものです。

加工製品、関連事業セグメントの売上高は、前年同期比109億円

特集

前回の株主通信の中で、佐藤社長が「アクトの奇跡」と語ったように、押出加工品メーカー日軽金アクトの業績の回復、好調さが目立っています。今回は、日軽金アクトの経営改革、社風変革の中味と今後の戦略について特集します。

—1— 日軽金アクトの沿革と概要

日軽金アクト株式会社は、4年前の2002年10月、日本軽金属の押出材と軽圧加工製品の製造・販売を行っていた部門が分社化され発足しました。業績は、設立直後の半年が売上高141億円、経常利益は5億円（いずれも半年決算）でしたが、2006年3月期には、売上高341億円、経常利益28億円と大幅に業績が回復しました。

その最大の理由は、押出材における差別化商品群と、接合、表面処理などの加工技術を組み合わせた高付加価値商品群が好調なためです。特に設立当初、45%に過ぎなかった加工品の比率を年々高めた結果、2006年3月期には55%を超えました。

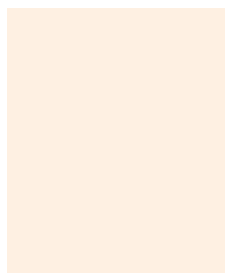
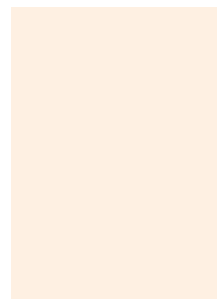
名称：日軽金アクト株式会社
英文名：Nikkeikin Aluminium Core Technology Company, Ltd.
所在地：東京都品川区
代表者：代表取締役社長 井上 厚
資本金：460百万円
持株比率：日本軽金属株式会社100%
事業内容：アルミニウム押出材およびアルミニウム加工品の製造・販売
従業員数：124名

—2— 2001年度の赤字からV字回復

設立前の現日軽金アクト相当部門は、月間約5千万円の赤字でしたが、分社後の4年間で月間約2億円の黒字会社となることができました。分社前後の余剰人員の削減や、押出機8機、皮膜設備4台などの除却、といったリストラ効果もありましたが、品質最優先や収益重視のビジネス運営を行った結果といえます。中でも取引1件ごとの経常利益を明確にした結果、全従業員の間で経常利益ベースでの議論が活発化し、製造方法や輸送方法の改善提案など、日々のコスト改善に大きく役立っています。

日軽金アクトの戦略は、売上を増やすために数量を増やすのではなく、加工比率を上げることにあります。押出工程が必要な場合は、新日軽や理研軽金属工業の設備を活用するなど日軽金グループ全体の資産を有効活用しています。また、加工部分に関わる人件費は、外注や契約社員を活用するなど、固定費ではなく変動費として仕事に応じて増減させる体制にすることでスリムな組織となっています。

—3— 少数精鋭の組織運営と全社あげての商品開発



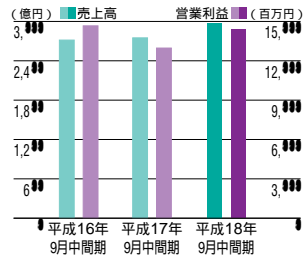
連結財務諸表

科目	平成18年 9月中間期	平成18年 3月期	増 減 (は減少)	平成17年 9月中間期	科目	平成13	菟無形固定	獅 “ 紛撃铵	碑 隶颯编服	儿苑
資産の部										
流動資産	343,114	294,331	48,783	288,890						
現金及び預金	54,998	28,122	26,876	29,671						
受取手形及び売掛金	185,864	172,100	13,764	166,071						
たな卸資産	84,993	76,020	8,973	76,338						
その他	20,013	20,372	359	19,799						
貸倒引当金	2,754	2,283	471	2,989						
固定資産	238,458	239,195	737	235,307						
有形固定資産	184,913	185,005	92	184,500						
建物及び構築物	62,785	62,488	297	63,496						
機械装置及び運搬具	46,849	46,611	238	45,599						
工具器具備品	7,675	7,187	488	7,176						
土地	64,750	64,890	140	65,059						
建設仮勘定	2,854	3,829	975	3,170						
無形固定資産	5,571	5,261	310	4,920						
のれん	1,010		1,010							
連結調整勘定		948	948	981						
その他	4,561	4,313	248	3,939						
投資その他の資産	47,974	48,929	955	45,887						
投資有価証券	34,641	35,346	705	32,262						
その他	15,989	16,203	214	16,654						
貸倒引当金	2,656	2,620	36	3,029						
資産合計	581,572	533,526	48,046	524,197						

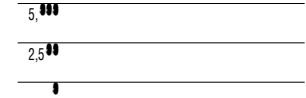
売上高・営業利益

売上高は自動車・輸送関連分野での需要が好調に推移したことや、アルミ地金価格の上昇に伴い、販売価格が上昇したことにより、前年同期比222億57百万円増の2,973億32百万円となりました。営業利益は、アルミナ・化成品、地金部門が増益を牽引し、前年同期比13億98百万円増の143億90百万円となりました。

売上高・営業利益



売上高・営業利益
(百万円)



事業区分	平成18年9月中間期		平成17年9月中間期		増減(は減少)		平成18年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミナ・化成品、地金事業	54,698	6,414	46,417	5,666	8,281	1,348	97,977	9,649
板、押出製品事業	38,040	3,369	33,998	3,137	4,042	232	79,714	6,435
加工製品、関連事業	126,020	7,166	115,193	7,188	10,827	22	238,422	15,848
建材製品事業	78,574	1,277	79,557	1,918	983			

単独財務諸表

単独貸借対照表

(単位:百万円)

科目	平成18年 9月中間期	平成18年 3月期	増 減 (は減少)	平成17年 9月中間期
資産の部				
流動資産	147,370	113,553	33,817	111,155
現金及び預金	24,525	3,427	21,097	8,527
受取手形及び売掛金	82,102	67,525	14,577	62,113
たな卸資産	24,242	23,403	839	20,295
関係会社短期貸付金	8,349	9,743		
その他の流動資産	13,634			
貸倒引当金	5,484			
固定資産	164,539			
有形固定資産	77,590			
建物	16,720			
機械装置	22,066			
土地	24,671			
その他の有形固定資産	14,131			
無形固定資産	813			
投資その他の資産	86,135			
投資有価証券及び関係会社株式	83,165			
その他の投資	6,977			
投資損失引当金	1,450			
貸倒引当金	2,557			
資産合計	311,909			
負債の部				
流動負債	115,791			
支払手形及び買掛金	38,389			
短期借入金	60,767			
一年内償還社債				
その他の流動負債	16,634			
固定負債	96,834			
社債	30,126			
長期借入金	58,768			
その他の固定負債	7,939			
負債合計	212,625			
純資産の部				
株主資本	96,496			
資本金	39,084			
資本剰余金	36,891			
資本準備金	26,891			
その他資本剰余金	10,000			
利益剰余金	20,862			
その他利益剰余金	20,862			
自己株式	342			
評価・換算差額等	2,787			
その他有価証券評価差額金	2,215			
繰延ヘッジ損益	572			
純資産合計	99,284			
負債純資産合計	311,909			

単独損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成18年 9月中間期	平成17年 9月中間期	増 減 (は減少)	平成18年 3月期
売上高				
売上原価				
売上総利益				
販売費及び一般管理費				
営業利益				
営業外収益				
受取利息及び配当金				
その他の営業外収益				
営業外費用				
支払利息				
その他の営業外費用				
経常利益				
特別利益				
特別損失				
税引前中間(当期)純利益				
法人税、住民税及び事業税				
法人税等調整額				
中間(当期)純利益				
前期繰越利益				
中間(当期)末処分利益				

(注) 当中間期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しております。
なお、前期、前中間期の純資産の部は、従来の資本の部を組替えて表示しております。



NLMグループ・トピックス

.....

日本軽金属、三菱商事と合金事業を統合

～ 開発力・技術力を強化するとともに、海外供給力が大幅に拡大～

日本軽金属(株)は、2006年8月、三菱商事(株)と両社それぞれのグループの鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金の製造・販売事業を2007年4月1日付けで事業統合することを発表しました。当社メタル合金事業部の当該事業を会社分割し、三菱商事の子会社の(株)エム・シー・アルミ(長野県千曲市)に承継させたのち、同社が発行する新株を当社が引き受け、当社の子会社とするものです。新会社の商号は「日軽エムシーアルミ株式会社」に変更し、資本金は10億円、出資比率は当社55%、三菱商事45%となります。

アルミニウム合金事業は、現在価格競争の激化などにより事業環境が厳しさを増すとともに、主要顧客である国内自動車メーカーから、開発力強化とメーカーの海外進出に伴う海外での供給体制の確立を求められています。

今回の事業統合により、日本軽金属が有するアルミニウム合金開発力・製造技術、三菱商事グループが有する国内外の生産拠点と海外での事業経験、といった両社の強みを

.....

00,000株

50,370株

52,429名

出資比率(%)

7.3

7.0

3.7

2.8

2.7

2.7

2.1

2.1

1.8

1.6

